



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに
輝きを

2014-2015年度会長メッセージ

第1167回例会 2015年6月17日 No.1136号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

こんにちは。任期も残りわずかとなりました。本日の例会と6月24日の夜間例会を残すのみです。

本日、まずご報告しなければならないのは、去る6月13日

(土)午前8時45分からエディオンスタジアム広島で行われ

ました、広島市中学校選手権大会優勝カップ贈呈式のことです。私と賀谷幹事、川中次年度会長、高野次年度幹事の4名で出席して参りました。広島市からは、教育長の尾形完治様、広島市中学校体育連盟会長上村桂司様ほか3名の方が出席されました。各競技代表制と26名ほか、100名あまりの競技選手が出席しました。今度の優勝カップ贈呈は、当クラブの25周年記念事業として行われたものです。ご理解のほどお願い申し上げます。

なお、私が贈呈式であいさつした内容は、別紙のとおりです。ご参照下さい。

今回の例会(6月24日)

最終夜間例会

次回の例会(7月1日)

会長就任挨拶

幹事報告(賀谷幹事)

■BOX配布物

- ・7月分のプログラムを配布しております。
- ・7月29日(水)休会のご案内を配布しております。ご確認ください。
- ・次年度正副会長幹事理事役員の方には、7/15(水)にございます就任挨拶のご案内を配布しております。ご確認ください。

■お知らせ

- ・次週の例会は、最終夜間例会へ変更しておりますので、お間違えのないようお願い致します。

出席報告 (例会運営委員会)

6月17日(水)出席者

| | |
|------|-----|
| 会員総数 | 53名 |
| 出席会員 | 35名 |
| 欠席会員 | 18名 |
| ご来賓 | 0名 |
| ご来客 | 3名 |
| ゲスト | 0名 |

来客者紹介 (親睦家族委員会)

6月17日(水)出席者

| | |
|--------|----|
| 広島RC | 2名 |
| 広島中央RC | 1名 |



.....SMILE BOX

渡部邦昭 会員

1年間、ありがとうございました。7月からは、ゆっくり食事が出来そうです。今後ともよろしく願います。

堀江正憲 会員

一年間、大変、お世話になりました。ありがとうございました。昨年の広島土砂災害、ご支援ありがとうございました。来年度の理事の皆様、引きつづきよろしく願います。

| | | | |
|-----|--------|----|------------|
| 当日計 | 7,000円 | 累計 | 1,206,000円 |
|-----|--------|----|------------|

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870


会長・幹事・理事退任挨拶(1/5)


会長 渡部 邦昭


今年度一年間、会長として、例会に出席される会員の皆様の少しでも役に立つ卓話を、と思って努力してきました。そのことを少しでもご理解いただけたら、少しでも聞いてよかったと感じていただけたら、と思います。





- (1) 2014年7月2日の例会卓話で、私は会長方針として、「原点に還って、奉仕を実践しよう」を掲げさせていただきました。24周年目をむかえ、ロータリーの精神を再確認することが大事であると思ったからです。


- (2)  2014年8月6日の例会で、高原宏之ガバナー補佐の卓話をいただきました。ガバナー補佐の仕事は大変なものがあると感じましたが、今年度のインターシティミーティングの池上彰氏の講演は大変印象的でした。「学び続ける力」を最後まで持ち続けたいと思いました。

- (3)  2014年8月20日の例会では、廣畑富雄様(福岡西ロータリークラブ)の卓話でした。「ロータリーの心と原点」というテーマで、御自身の著書をもとにお話しいただきました。ロータリーの存在意義について改めて考えさせられました。また、魅力あるロータリーにするために、ロータリーの基本に戻ることを大事であると話されました。改めて、同氏の本を読み返して、ロータリーの精神を学び直したいと思いました。

- (4)  2014年8月27日には、ガバナー公式訪問がありました。金子ガバナーは、卓話の中で、クラブ例会で若い会員にスピーチをする機会を増やして下さい、と言われていましたので、今年度は充分できませんでした。次年度は、この点、宜しくお願いします。

- (5)  2014年9月24日例会では、佐藤恭子先生(広島安佐ロータリークラブ)の推薦で、小柳賢太郎君のピアノの演奏がありました。ショパンの「革命」の演奏は素晴らしかったです。小柳君の才能を感じました。何年か後には全国的に、あるいは、世界的にも有名になれるのではないかと感じました。

- (6)  2014年10月29日の例会には、林原グループの元専務取締役であった林原靖様に卓話をいただきました。世界的にも優良な企業であった「林原」が何故に突然、破綻したのか、多くの教訓を得ることができました。金融機関との付き合いの仕方は、企業にとって大事であることを痛切に学びました。林原様の書かれた「破綻」という本を是非、手に取って読んで下さい。多くの教訓が得られると思います。

- (7)  2014年11月5日には、NPO法人スペシャルオリンピックス日本広島の事務局長である岡田幹子様卓話をいただきました。知的障害者(児)に日常的なスポーツプログラムと練習の成果を発表する協議会を提供してきて、16年目ということです。このような地道な活動にロータリアンとして関心を持っていただくことは大切なことだと思います。

会長・幹事・理事退任挨拶(2/5)

- (8)  2014年11月12日には、直前ガバナーの沖田哲義様に、ロータリー財団の卓話をいただきました。「国際ロータリー(R I)は奉仕活動をし、ロータリー財団は補助金活動をし、具体的活動をするのは、いずれも国際ロータリークラブの会員であるロータリークラブであり、そのメンバーである個人のロータリアンなのです。」と話されて、成程な、と思いました。今後とも、ロータリー財団には、解らないところがたくさんありますので、学び続けなければいけない、と思います。
- (9)  2014年11月19日は、職場例会ということで、川端ひとみ会員の富士電子産業の職場訪問をさせていただきました。素敵な企業で例会をさせていただき、ありがとうございました。これからも素敵な職場環境を大切にしてください。
- (10)  2014年11月15日には、広島市奨学生体育連盟陸上教室主催の一日陸上教室記録会の後援のために出席してきました。元気な子どもたちの姿をみて、未来の日本の明るさを感じました。
- (11)  2015年1月21日の例会には、呉地方総監の伊藤俊幸様の「中国の海洋関連機関と日中間の海洋に関する枠組み」というテーマの卓話をいただきました。中国が尖閣諸島への侵入を繰り返しているということで、緊張が増しているようです。不測の事態を防ぐための必要性が高まっているということで、日中間の事務レベルの会議も行われているようです。南シナ海でも緊張が増えています。戦争が起きない様に、大きな努力をしていることを学びました。国際情勢の展開に関心を持ち続けたいと思います。
- (12)  2015年2月4日の例会に元厚生省事務次官の岡光序治様の卓話をいただきました。「社会保障のゆくえ」というテーマでしたが、大変役に立ちました。少子高齢化の時代をむかえ、社会保障は受難の時代をむかえようとしているようです。少ない稼働人口で高齢者を支えなければならないからです。消費税を上げるだけでは賄えないということを言われていました。「2025年問題」ということも言われていました。そのころには医療保障財政が限界に達すると予想されていると言われていました。給付と負担のバランスをとるために、「もったいない精神」を浸透させることが必要であると言われてたのには納得せざるを得ませんでした。負担については、消費税以外に求めることが可能かどうか、税源(タックスヘイブン)の問題にも関心を持ちたいと思いました。
- (13)  2015年2月25日の例会には、広島北ロータリークラブの丸山佳生会員にお話しいただきました。タイのバンコク、スリウォンロータリークラブと連携して、浄水器設置支援プロジェクトのお話を伺いました。浄水器1台で約500人の子どもたちに「安全・安心の飲み水」を提供できる、しかも、100万円程度の費用で可能であることを学びました。このような国際奉仕活動を当クラブでも参考にして実現できないかなと思いました。また、この浄水器があれば子どもたちの寿命が20年延びると言われたのには納得せざるを得ませんでした。

会長・幹事・理事退任挨拶(3/5)

- (14)  2015年3月4日に、ユニタール広島事務所長の隈元美穂子様に、「国連と平和拠点
広島の可能性」というテーマで卓話をいただきました。世界の人口約73億人のうち、
実に8割以上の方々が発展途上国で生活しているということ、しかも貧困状況におか
れていることをお伺いし、貧困問題の解決なしに、世界平和は来ない、と感じました。
広島は被爆地として世界平和のために平和発展拠点としての広島の活躍の場が期待
されるとの力強い言葉もいただきました。
- (15)  2015年3月11日の例会では、「木材からの地域創成」と題して、銘建工業株式会社
社長の中島浩一郎様に卓話をいただきました。日本の最大の弱点は、いうまでもな
く、エネルギーです。福島原発事故以来、原子力発電に対する不安が広がり、原子力
エネルギーへの依存は難しくなりつつあります。中島様の取り組まれている「バイオマ
ス発電」はエネルギーのベストミックスと新たな解を与えるものに成長するかもしれませ
ん。中島様の挑戦は、日本のエネルギーの将来にとって興味深いものです。今後とも
関心を持ちたいと思います。
- (16)  2015年3月18日には、元裁判官の井上薫様に「裁判員裁判を考える」と題して卓話
をいただきました。井上様は、「裁判員裁判は違憲である。裁判員裁判は冤罪をつく
る」ということで、廃絶すべきであることを主張されています。何時、何人が招集される
かわからない「裁判員」という制度が健全な司法制度のために必要なものなのか、改
めて考えさせられました。「市民感覚を取り入れる」ということは、裏返せば「人民裁判
もどき」であるという厳しい意見もあります。この機会に裁判員制度について改めて考
えてみたいと思いました。
- (17)  2015年4月15日に、大竹ロータリークラブの宗教家 日域学様に卓話をいただきました。
ロータリーはキリスト教をベースにしていると思っています。しかし、仏教にも共通
するものは奉仕の精神です。キリスト教は寄附といいますが仏教では布施といいますが。
世界三大宗教のうち、古い順には、仏教(2500年前)、キリスト教(2015年前)、イスラ
ム教(約1400年前)ですが、信者の人口では、キリスト教(20数億人)、イスラム教(16
億人)、(仏教)4億人の順だそうです。仏教徒が減少しているのは戦争が弱いため、と
言われたのには驚かされましたが、何故か、納得できるものもありました。仏教は、あるいは、宗教の話しを
わかり易く、優しくお話し下さったのは感謝です。
- (18)  2015年4月22日の例会には、「貧困問題とその取り組み」と題して、尾藤廣喜弁護士
(日弁連貧困対策本部副本部長 生活保護問題対策全国会議代表理事)に卓話を
いただきました。日本における貧困は、6人に1人というのには正直驚きました。生活
保護者が200万人を超えているという数字、「餓死」や「孤独死」が年間50人から100
人もあるという現実をつきつけられますと、ロータリーとして何かできることはないかと考
えるのではないのでしょうか。貧困化が進むにはデフレの長期化や資産格差の問題があ
りますが、所得再配分によって、平均的平等に近づけることがあるでしょう。また、富裕層からもう少し税負
担していただく必要もあるでしょう。そういう総合的な施策が必要であることを痛感させられました。

会長・幹事・理事退任挨拶(4/5)

- (19)  2015年5月13日の例会には、当クラブの永岡満会員に「課税の公平とタックスヘイブン」と題して卓話をいただきました。長年に渉り、税務行政に精通している永岡君には貴重なお話いただきました。社会保障や貧困対策等の財源を確保するために「課税の公平やタックスヘイブン」の実現は大切なことです。グローバル企業が税率の低い国に拠点を移して課税を逃れるのは、いまや放置しておけません。しかし、税の問題は主権にかかわるものですから、簡単ではありません。永岡会員は、租税回避の防止のために何をすべきか、取り組むべきかをできるだけわかりやすくお話し下さいました。民法上の取引行為が有効になされている場合に、経済的合理性が認められないとして、税法上否認できるかどうかは難しい問題です。東京の裁判所を舞台に戦いが繰り返されているところです。
- (20)  2015年5月20日の例会には、健康管理士 原田史子様「ヤクルト健康教室～腸内フローラについて～」と題して卓話をいただきました。「汚れた腸が病気をつくる」という本を読みましたが、腸をクリーンにすることは健康維持に重要なようです。ヤクルトのヴィフィズ菌は大腸まで届くそうですので、健康維持に役立つかもしれません。
- (21)  2015年5月27日の例会には、「広島創生に向けたこれからの取り組み」と題して、広島商工会議所会頭の深山英樹様にお話しいただきました。「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが必要である、観光産業と農業の強化が必要であるとも言われていました。また、人口減少に対応するため「働く女性応援隊ひろしま」の活動を通じて女性が活躍できる環境づくりを進めてゆきたい、と述べられていました。また、地方創生のために基幹道路(国道2号線)の高架延長などのインフラ整備の必要性も言われていました。全て尤もなことで、是非とも推進していただきたいと思いました。今後の深山会頭のご活躍を心より祈念しております。
- (22)  2015年6月3日には、病理学医師である広島南ロータリークラブ会員の井内康輝様に例会卓話をいただきました。井内様にはカンボジアのブノンベンRCと協力して、「乳ガン検診プロジェクト」を計画し、実現された方です。これを実現するために、国際ロータリー財団のグローバル補助金を申請・受理してもらって実現したということで大変貴重な国際奉仕事業を実現されました。ロータリー財団の本部と粘り強い交渉をして実現されたことに心より敬意を表したいと思いますし、当クラブとしても参考にして、国際奉仕プロジェクトを企画してみたら、と思いました。

<謝辞>

拙い会長であったと思いますが、ロータリーの友情に免じてご寛容いただければ、と思います。一年間ありがとうございました。

会長・幹事・理事退任挨拶(5/5)

直前会長 森川 和彦

直前会長の任期が満了し、3年間にわたった執行部との関わりもようやく終わることとなりました。正直、ほっとしております。力不足で十分なことはできませんでしたが、ロータリーの友情に免じて、ご容赦いただければと思います。今後は1会員として、クラブをサポートしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

副会長 堀江 正憲

国際ロータリー第2710地区広島陵北ロータリークラブ、2014-2015年度会長 渡部邦昭の方針、「原点に還って、奉仕を実践しよう」と、一年間一人一人の会員が輪になって、職業奉仕活動をし、例会は、卓話の充実にて、会員への組織向上に努力されました。又、8月20日の広島土砂災害では、安佐南区、北区への援助、又祇園学区の防災参考資料を第2710地区の全クラブに配布していただきました。6月13日は、広島市中学校、小学校の選手権大会で、小学校8、中学校26の優勝トロフィーを贈呈されました。次年度は、25周年を川中敬三会長エレクトを中心に計画されています。本年、広島陵北ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。

副幹事 沖田 彰範

一年間、副幹事を仰せつかりました沖田です。この一年、例会進行や理事役員会議事録作成等させて頂き、クラブ運営のおおまかな動きが分かり大変勉強になりました。また、合同幹事会に出席させて頂いた事で、他クラブとの交流できるようになって、幅広くうちそののロータリーに係わり、接する事が出来ました。いま、当クラブも会員が増え、入会3年未満の会員の方が1/3占める割合となりましたが副幹事という役は、気楽にクラブの方と親睦が深められ、ロータリーについての入門編の役として、入会3年未満の方には、是非とも早く経験して頂きたいと思っております。本当に一年間皆様のお陰で、楽しく有意義な役を務めさせていただき有難う御座いました。

広島市中学校優勝カップ贈呈

広島市中学校優勝カップ贈呈式が、2015年6月13日(土)にエディオンスタジアム広島にて、開催されました。



2015年6月13日

贈呈挨拶

広島陵北ロータリークラブ
会長 渡部 邦昭

ただいまご紹介のありました広島陵北ロータリークラブ会長の渡部邦昭です。

贈呈者でありますクラブを代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

ロータリークラブは、職業奉仕、社会奉仕、国際・青少年奉仕などの奉仕活動を目的とする団体です。広島には、13のロータリークラブがありますが、広島陵北ロータリークラブは、そのひとつで、現在53名の会員を擁しております。

広島陵北ロータリークラブは、平成2年9月12日に創立され、昨年9月12日に24周年を迎え、25年目に入るのを記念しての事業として、本日の優勝カップの贈呈となりました。

初代広島陵北ロータリークラブ創立時の会長は、学校法人広陵学園で理事長もされておられました二宮義人先生です。クラブ創立以来、二宮先生のご指導の下、学校・教育関係の社会奉仕活動に力点を置いてきました。過去に広島県中学校体育連盟に優勝杯の贈呈をさせて頂いたこともありますし、現在も継続事業として広島市小学生体育連盟陸上教室に支援をさせて頂いております。

本日の優勝カップの贈呈については、私どもロータリークラブの会員が25周年記念事業として何がふさわしいのか、協議して決定したものです。二宮先生の教えの原点に還って、青少年の心身ともに健全な育成を期待して、この度、広島市中学校体育連盟の方に優勝カップを贈呈しようということになりました。

本日参加している生徒の皆さんにおかれては、私どもロータリークラブ会員の期待に応えて頂き、スポーツを通じて、ロータリーの精神であります、他者に対する思いやりと寛容の心を養って下さい。そして、未来の日本を支える成人(大人)に成長していただくことを期待しております。

以上、言葉は足りませんが、贈呈者挨拶にかえさせていただきます。終わります。